

# 指定管理業務モニタリング評価結果

企業総務課

## 1 要旨

県営水道における指定管理者制度導入施設について、毎月の報告書や実地の立ち入りによりモニタリングを実施している。この度、令和2年度第2四半期（令和2年7月～令和2年9月）の業務が終了したため、業務の実施状況について評価を行った。

## 2 評価結果

### ① 広島西部地域水道用水供給水道（第2期3年目）

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道	
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目 H30.4.1～R5.3.31
評価期間		令和2年第2四半期（令和2年7月1日から令和2年9月30日まで）	
総評		A	S：優良（要求水準以上の取り組みを実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。
	6 その他	○	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組		<input type="checkbox"/> 三ツ石浄水場で漏液の早期発見のため、薬品タンクの液量に異常変動があった際に警報が鳴るよう監視装置のプログラム改修を行った。	
提案項目への取組		<input type="checkbox"/> 白ヶ瀬浄水場と三ツ石浄水場の双方向監視体制の環境整備が完了したことから、9月より新体制での運用を本格開始し、支障なく運用を行っている。 <input type="checkbox"/> 白ヶ瀬浄水場における藻の発生対策として、沈でん池に遮光ネットを設置して比較検証を行っており、8・9月の検証結果では効果が出ていることから、引き続き10月以降も季節的な変動を含めた検証を行う。 <input type="checkbox"/> AIによる薬品注入の自動化について、水質や薬品注入量等のデータ蓄積を行い、実証のためのプログラム開発を行った。	
その他課題、要望事項等		<input type="checkbox"/> この度整備した双方向監視システムについて、他の施設への導入を検討すること。	

### 【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取り組みを実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある

② 沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道（第2期1年目）

対象業務	沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道		
指定管理者	株式会社水みらい広島	2期目	R2.4.1 ~ R5.3.31
評価期間	令和2年第2四半期（令和2年7月1日から令和2年9月30日まで）		
総評	A	<b>S：優良</b> （要求水準以上の取り組みを実施している項目がある） <b>A：良好</b> （各項目の要求水準をすべて満たしている） <b>B：要改善</b> （各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）	
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。
	6 その他	○	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組	<input type="checkbox"/> 西藤取水場において、7月の大雨後に異常（ポンプ井の水位上昇）が発生したため、ポンプ井内の調査を実施したところ、経年劣化による壁のひび割れや設備の故障が判明した。調査の際に、ポンプ井内の堆積土が多かったため清掃を実施し、設備の故障対応についても、堆積土の流入を防ぐ仕様への変更を行う等の改良策の提案を行い、今年度中に対策を講じることとしている。		
提案項目への取組	<input type="checkbox"/> 本郷浄水場において、微生物が原因の濁度上昇への対応として、第1四半期の対策（遮光ネット等）に加えて、新たな薬品の投与による微生物の除去効果の検証を行うために実験装置の設置を行い、検証を開始した。 <input type="checkbox"/> 沼田川の濁度上昇により、排出汚泥量が増加していることから、ポータブル汚泥界面計（汚泥の厚みを計測する機器）を利用して、より水分量の少ない汚泥を排出することで汚泥脱水機の効率的な運用方法を検討している。		
その他課題、要望事項等	<input type="checkbox"/> 汚泥排出方法について引き続き検討・試行し、効率的な運用方法を導入すること。		

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取り組みを実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある